

# 公共政策研究科編

★ 平日夜間と土曜日の履修で修了できます。

社会人・実務家を対象に、**公共政策に関わる高度な調査分析能力と政策立案能力をもった高度職業人を育成**する目的で、2012年4月より開設しました。基礎教育と、4つの分野からなる公共政策プログラムの2本柱で教育を行います。基礎教育により全コース・分野共通の理論を身に付けた上で、1つの分野を選択し体系的に学ぶことも、4つの分野を横断的に学ぶことも可能です。

## Point

### [ 公共政策研究科 4つの分野の特徴 ]

- ▶ 政府や公共団体の活動にかかわる諸問題を研究
- ▶ 公共マネジメント
- ▶ 市民社会の公共的な力を体現する組織などが研究対象
- ▶ 市民社会ガバナンス
- ▶ 国や地域、企業における環境マネジメントを研究
- ▶ 環境マネジメント
- ▶ 途上国の持続可能な開発に国際協力が果たす役割を明確化する
- ▶ 国際パートナーシップ

在学生  
Voice

## 公共政策研究科 公共政策学専攻 市民社会ガバナンスコース



博士後期課程 2年  
手塚 貴子さん  
有限会社フループ 代表取締役

### 仕事での疑問が博士後期課程進学までつながった

約4年前、仕事で主婦モニターの方々とお話ししているときに、再就職が難しいという現状を聞き、なぜなのか?という疑問を持ち、研究してみたいと思いました。自分のこれまでの経験や情報を理論的に整理することや、あまり興味を持っていなかった分野も、最低限の知識を得たいと思っていた時期でもあり、大学院修士課程へ進学。修士論文を書いている中で、知らないことがど

んどん出てきて、もっと研究をしたい!と思うようになり、博士後期課程まで進学しました。市ヶ谷という通学しやすい立地、平日の夜と土曜日が授業という履修しやすい時間割が魅力でした。それにも増して、社会人が多く入学しているので、異業種の方々と知り合えたことは、何にも代えがたい最大の魅力で、人生の新たな展開の可能性を予感させる学びや出会いがありました。

### Self-Introduction

- Q1. 50代
- Q2. 広告業
- Q3. 12年
- Q4. 子育て中の女性の再就職
- Q5. 両親
- Q6. 一期一会
- Q7. テニス

在学生  
Voice

## 公共政策研究科 公共政策学専攻 環境マネジメントコース



修士課程 2年  
石井 修平さん  
公益財団法人 日本環境協会 事業部

### 専門性の高い知識が仕事で大いに役立ちます

環境に関する仕事に携わる中で国際環境法に接する機会が多くあり、大学院において専攻して学びたいと考え進学を決めました。私の研究テーマは、日本国内の油汚染について、ISO(国際規格)、JIS(国内規格)、米国法、日本国内における法令・条例それぞれの規制手法の違いから問題点を提起し解決案を導くこと。法政大学大学院の環境は裾野が広く、基礎的な環境法から国際環境法、さらには環境

訴訟、環境政策などに加え、経済学、政策学、財政学など基礎知識となる分野まで広く学ぶ事が可能です。今後の目標としては、世界的に国際化が急速に進む中で、日本国内における環境分野の規格においても国際化の流れが早まっている状況で、欧米など先駆的に環境規格が整備されている制度を理解し、今後の日本国内における環境規格や基準の整備に関わり取り組んでいくことを考えています。

### Self-Introduction

- Q1. 30代
- Q2. 環境関連団体
- Q3. 10年
- Q4. 環境マネジメントの国際規格化における日本国内の油汚染問題に関する研究
- Q5. 祖父
- Q6. 不撓不屈
- Q7. モータースポーツ、植物研究

修了生  
Voice

## 環境マネジメント研究科 (現：公共政策研究科 公共政策学専攻 国際パートナーシップコース)



修士課程 2004年度修了  
桂井 太郎さん  
国際協力機構東南アジア・大洋州部東南アジア第3課

### 経験豊富な教授との関係はまだまだ続いています

私は、大学ではコンピューター・サイエンスを学び、卒業後は大手メーカーでメインフレーム・コンピューターの開発に携わっていました。その頃までは日本、ましてや途上国の社会や経済に興味は全くありませんでした。偶然読んだ本をきっかけにいろいろな社会問題に関心を持ち、まず体系的に学ぶべきと考え、大学院への進学を決めました。法政大学大学院は、国際協力の現場経験

豊富な先生方が多いことが最大の魅力でした。現場経験に基づいた講義や演習はリアルで、説得力がありました。卒業してから10年近く経ちますが、今でも先生方にはご助言いただいたり、本の翻訳などお仕事を一緒にさせていただいたりしています。今後は、国際協力の実務の最前線にいながら、学術論文のような知的発信をしっかりと出し続けられる実務家を目指しています。

### Self-Introduction

- Q1. 30代
- Q2. 国際協力
- Q3. 15年
- Q4. 環境平和創造
- Q5. マーチン・ルーサー・キング
- Q6. 利には夢がある...
- Q7. 育児